

< 川崎市立井田病院からのお知らせ >



# 第44号 井田山



基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

新年明けましておめでとうございます。

旧年中、当院に賜りました数々の御厚情と御支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

今日、医療をとりまく状況が非常に厳しい中、当院では昨年4月にDPCを導入し、医事課をはじめとした全職員の力を結集して多くの困難を乗り越えることができました。今後は更なる医療の効率化に努めてまいります。

昨年は、橋本副院長、松本副院長、中川原事務局長をはじめ多くの新しい仲間を迎えることができました。今年も既に新たな専門医の資格を持った複数のスタッフの就任が内定しております。地域の中核病院として更なる質の高い医療の提供を目指して、医師を中心に優れたスタッフの獲得・育成に一層努力してまいります。

救急病院として認定された平成22年11月以後、その前の年の同じ時期に比べて、1.2倍の5,514人の救急患者、また1.3倍の2,732台の救急車を受け入れてまいりました。今年も引き続いて救急医療の拡充に努めてまいります。その実現には地域の医療機関との連携が不可欠です。病病連携、病診連携を深めることが今年の最大の目標です。

大震災の影響で延期されている新病院への移転は本年5月に実現します。新病院では電子カルテを導入します。

新病院開院を機に飛躍の一年にしたいと職員一同考えております。今年一年、さらなる御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成24年1月

井田病院長 長 秀男



## 《卒後臨床研修評価の認定を受けました》

平成23年11月25日に、卒後臨床研修評価機構(JCEP)の訪問調査を受けました。午前中の合同面接調査、午後の部署訪問ともスムーズに行われ、ご協力感谢您しております。12月22日に「認定」のお知らせがありました。臨床研修指定病院は1,029ヶ所ですが、認定病院は115(11%)に過ぎず、誇れることと考えます。しかし、総評では(1)症例レポートレベルが不十分、(2)病院全体の取り組みという認識が少ない、(3)コメディカルスタッフによる指導・評価や事務職員による研修支援の更なる充実、等が指摘され、中項目13/27(48%)・小項目21/88(24%)が「要検討」になりました。これらについて、2年後の更新までに改善せねばなりません。よりよい研修医教育は将来のよりよい医療に繋がります。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。 教育指導部長 麻薙 美香



# 《患者満足度調査の結果について》

平成 23 年 8 月、患者様の率直なご意見をお伺いし、今後の患者サービスの向上や、よりよい病院づくりに役立てることを目的として、アンケート方式による患者満足度調査を実施しました。今年度は、従来と実施手法を変え、他病院も実施している満足度調査に参加したことで、他の医療機関（平均値）との比較が可能となりました。

この度、その調査結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

- ◎ 回答数 外来患者 165 人〔配布数 300 人、回答率 55%〕  
入院患者 189 人〔配布数 393 人、回答率 48%〕

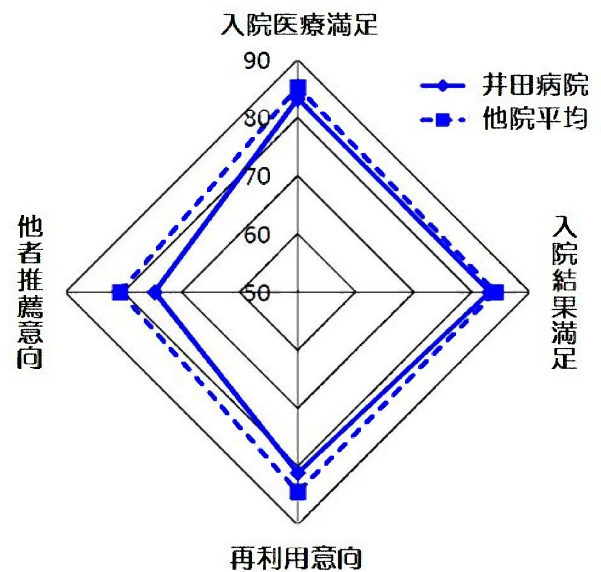
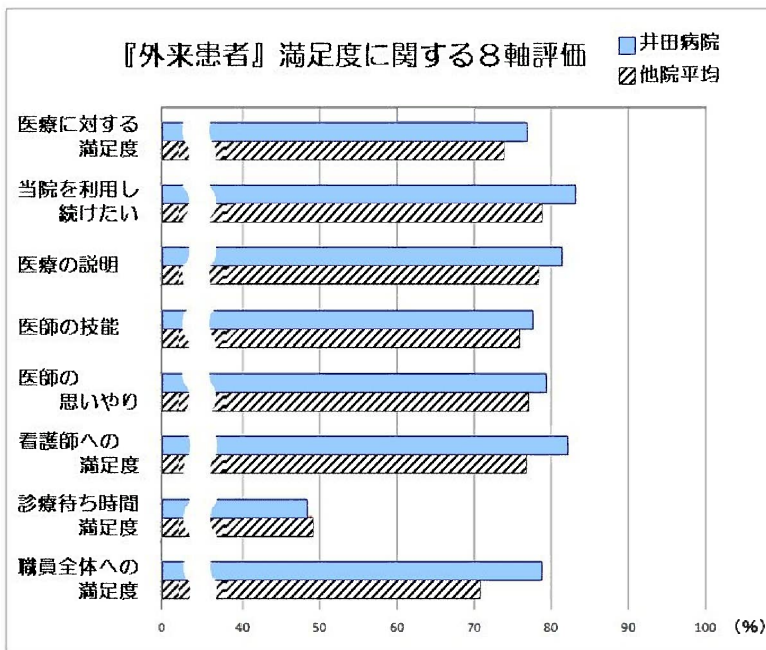
## ◎ 調査結果

外来中の診療については、90.1%の方が当院の医療について「満足」とお答えいただきました。しかしながら、個別の質問では、「診療待ち時間満足度」が大変低くなっていますので、改善に向け、今年の春にオープンする新棟での運用方法や設備導入などについて検討を進めてまいります。

また、入院中の診療については、95.5%の方が当院の医療に「満足」とお答えいただきましたが、入院全般に関する質問では、他院と比べて「再利用意向」及び「他者推薦意向」の割合が低いことが分かりました。入院生活環境に関して「トイレの数・清掃」や「シーツ・寝具の取替時期」、あるいは職員の対応に関して「患者に対する気遣いや挨拶」など、改善すべき点について具体的なご意見がありましたので、対応が可能なものから順次、改善に取り組み、「入院するなら井田病院」と思っただけのよう努めてまいります。

Q. 当院の医療に満足していますか？

アンケートの選択枝	外来患者調査		入院患者調査	
	井田病院	他院平均	井田病院	他院平均
満足				
とても思う	22.4%	90.1%	34.8%	95.5%
そう思う	52.8%		53.4%	
ややそう思う	14.9%		7.3%	
不満足				
あまりそうは思わない	7.5%	9.9%	3.4%	4.5%
思わない	1.2%		0.0%	
全く思わない	1.2%		1.1%	



(サービス向上委員会)

## 内科の最新治療

# 《糖尿病の最新治療》

糖尿病の患者さんは年々増加しており、予備軍も含めると、40歳以上の日本人の5人にひとりには糖尿病という時代になりました。大部分の糖尿病は2型糖尿病で、自覚症状があまりない代わりに自覚症状が出てきた時にはすでに合併症が進行してかなり悪くなっていることが多いのです。

糖尿病の患者様にとって大切なことは何といっても早期診断、早期治療、そして治療継続です。幸い最近では検診がいろいろ行われるようになり、糖尿病も早期から診断されるようになりました。また、それに合わせて、早期糖尿病の治療に有効な薬剤も増えてきました。

糖尿病の治療法としてはまず、食事療法で次が運動療法、最後が薬物療法といわれています。特に食事療法は何にも勝る治療法で、2型糖尿病の患者さんは正しい食事療法を行って体重を減らすだけでかなり血糖が下がります。しかしそれがなかなか出来ないのが糖尿病の病気の特徴なのです。

これまで食欲を抑えるとか体重を減らすとかの効果のある糖尿病薬はあまりありませんでした。しかし最近はこのような効果のあるお薬も出てきているのです。昨年発売された DPP-4 阻害剤や、GLP-1 アナログという範疇に属するお薬、高容量のメトホルミン剤などです。またこれから数年後に発売される可能性のある SGLT 2 阻害剤というお薬も尿から糖を排泄することによって、体重減少の効果があるといわれています。

医学の進歩とともに新しいお薬も出てきますが、まだ糖尿病が完治するわけではなく、またいくらこのようなお薬を飲んでも食べ過ぎてしまっても効果はありません。やはり糖尿病治療の基本は食事療法です。美味しい物がいくらでも手に入るこのような時代だからこそ自らを律して食べ過ぎないようにすることが大切なのです。

総合医療部長 半田 みち子

## 《緩和ケアの取り組みについて》

がんは、高齢化の進行にともない増加し続けています。治癒できるがんもある一方、難治のがんに苦しむ患者も益々増えています。余儀なくがんと戦わざるを得ない患者さんの身体の苦痛、精神的な辛さ、社会的な重荷、心の苦悩などを全人的に支える事を緩和ケアと言います。当院は、地域がん診療連携拠点病院として、地域のがん診療に責任ある対応をするために、がんの手術や化学療法、放射線療法を積極的に行うとともに、入院中は、がんサポートチームが、がん治療の早期から患者と家族を支え、さらに、かわさき総合ケアセンター緩和ケア病棟での緩和ケアや在宅ケア部門によるがんの在宅緩和ケアを行っています。病状が不安定な場合には、緩和ケア病棟での療養を行います。安定すれば、また在宅にもどることが可能です。井田病院では 1998 年以来多くの経験があり、安全で安心な緩和ケアを入院でも在宅でも行うことができます。

かわさき総合ケアセンター所長 宮森 正

## 《認定看護師の紹介 part.1》

看護部主任 佐藤 江利子（皮膚・排泄ケア認定看護師）

皮膚・排泄ケアとは、人工肛門・人工膀胱のケア、褥瘡（床ずれ等）や失禁などの皮膚・排泄トラブルでお困りの患者様の相談や指導、ケアの実践を行っています。また、入院中の患者様の皮膚トラブルに対し治療的・予防的ケアを提供できるよう看護師のアドバイスなども行っています。スキンケアや排泄ケアは看護の基本となるもので、患者様の生活の質に大きく関わってきます。そのため、基本的なケアに対して専門的な知識と技術を用い、より質の高い看護を提供できるよう日々努力しています。当院では、専門外来として毎週水曜日の午後には失禁外来、毎週木曜日午前から人工肛門・膀胱（ストーマ）外来があります。失禁やストーマを保有し生活されている患者様のサポートや相談を行っていますので、気軽にご相談いただければと思います。よろしくお願いたします。



## 《ジェネリック医薬品とは》

医療用医薬品には同じ成分でも値段の高い薬（先発医薬品）と安い薬（後発医薬品）があります。後発医薬品は、ジェネリック医薬品とも呼ばれています。

＜ジェネリック医薬品のメリットとは＞

どのような画期的な発明の医薬品でも、その発売から一定年数が経過すると、その有効成分や製法等は共有の財産になり、医薬品製造業者は自由に特許がきれた医薬品を製造できます。このため、先発医薬品に比べて、開発費が安くなり、薬価が安くなります。薬価が安い事が、最大のメリットです。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ成分で同等の効果が期待できます。

また、先発医薬品が湿気に弱かったり、光に弱い性格を持っていても、ジェネリック医薬品は、それを改善したり、薬の味が改善されていることもあります。

後発品への切替例

メバロチン錠 10mg(先発品) 薬価(1錠) 112.2円

プラバスタチン錠 10(後発品) 薬価(1錠) 63.1円

49.1円(差額)

＜ジェネリック医薬品のデメリットとは＞

ジェネリック医薬品は、薬の添加物や剤形が変わるため、薬の効果に影響を与える事があります。また、ジェネリック医薬品は、先発医薬品に比べて、その製品に対する情報が少ない場合があります。

このように、ジェネリック医薬品には、メリット、デメリットがあります。

興味がある方は、かかりつけの医師、薬剤師等に相談しましょう。

(薬剤科)



## 「入院中に他の医療機関にかかれますか？」

医療には様々なルールがあります。特に気を付けていただきたいのは、入院中に「他の医療機関の受診」を希望されることです。場合によっては医療保険の適応から外れ、受診先の医療機関で、かかった医療費の全額を請求されることもありますので、複数の医療機関に受診されている方につきましては、必ず入院中の医療機関で事前にご確認ください。

(問合せ先 事務局医事課)

## 市民や患者さまへ（市民公開講座のお知らせ）

演 題 『肺がんの診断と治療』  
 講 師 川崎市立井田病院 呼吸器外科医長 安彦 智博  
 日 時 平成24年2月23日（木）午後2時から午後3時半頃まで  
 場 所 川崎市役所第4庁舎2階ホール（川崎区宮本町3-3）  
 参加費 無料、事前申し込み不要

(問合せ先 事務局庶務課)

次号は、特別号として、新病院の特集を企画しております。

また、広報誌に関するご意見や感想などありましたら、お寄せください。



編 集：川崎市立井田病院 広報委員会

発行責任者：中川原 勉

住 所：川崎市中原区井田2-27-1

電 話：044-766-2188 (代)

FAX：044-788-0231

ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/ida/index.html>